

2024 年 11 月 9 日作成 Ver.1.0

《情報公開文書》

腎病理におけるバーチャルスライドの有用性に関する単施設後方視研究

研究の概要

【背景】

以前は腎生検にて得られた組織の病理像は顕微鏡にて直接確認されていましたが、近年病理像のデータを画面上で確認することもできるようになり、バーチャルスライドと呼ばれています。バーチャルスライドは遠隔診断や教育的応用に有用ということがわかっており、長崎大学病院腎臓内でも 2022 年 7 月より顕微鏡での診断に加えて、バーチャルスライドでも病理画像を確認できるシステムを導入しました。一方で、腎臓病理に関する診断や教育に、バーチャルスライドがどの程度有用なのかはまだ明らかになっていません。

【目的】

単施設内においてもバーチャルスライドの利用により病理診断に基づく治療方針決定の迅速化、及び若手医師の腎病理教育に有用であることを明らかとすることを目的とします。

【意義】

バーチャルスライドの有用性が明らかになることで、今後のバーチャルスライドの普及につながり、ひいては早期診断、早期治療、及び医学教育の充実を図りたいと考えてます。

【方法】

長崎大学病院で入院し、腎生検を施行された患者さんの診療録情報より、腎生検施行日、診断日及び治療開始日などの情報を抽出し、バーチャルスライド導入前と導入後においてそれらに明らかかな差があるかを比較検討します。また、診療録記載医師の経験年数等の比較を行い、バーチャルスライド導入後に若手医師による病理像に基づく考察の記載が増えている、もしくは早くなっているかを調査します。

対象となる患者さん

2020 年 7 月 1 日から 2024 年 6 月 31 日に長崎大学病院腎臓内科へ入院し、腎生検を行い、電子カルテに記載が残っている 18 歳以上の入院患者を対象とします。

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- 患者背景：年齢、性別、内服薬、透析施行の有無、腎生検前の臨床診断名
- 臨床診断名
- 臨床検査値：血液検査、尿検査
- 腎生検施行日
- 病理診断名（※入院中に記載がない場合は退院後の記載を含める）
- 病理所見に基づくアセスメントの記載日
- 病理所見に基づくアセスメントの記載が入院中か退院後か
- 病理所見に基づくアセスメントの記載医の区分：病理所見に基づく診断及び治療方針の記載を初めて行った医師が修練医と指導医のいずれであるか
- 治療開始日
- 担当修練医の年数と性別
- 退院日、入院日数、転帰

情報の利用開始予定日

本研究は2024年11月14日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。また、本研究に用いる情報を必要に応じて他の研究に使用させていただく可能性があります。その場合にも、ご連絡をいただければ対象者から除外し、あなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2026年12月31日

研究実施体制

研究責任者

所属：長崎大学病院 腎臓内科
氏名：西野 友哉
住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1
電話：095 (819) 7282

情報の管理責任者

長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 腎臓内科 西野 友哉（研究責任者か研究分担者）

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095（819）7282 FAX 095（849）7285

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）